



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会  
会報 第123号 2024年9月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

# 収穫の秋がやってきます



田周辺の草刈り

猛暑であろうと、大雨であろうと、谷戸の草は勢いよく生え続けます。稲刈りに備えて畔の草刈り、稲を干すはさを立てる場所の草刈りと準備万端です。台風の被害がないことを祈ります。

## お知らせ & 谷戸往来 1

### とみたしょうこ 絵本原画展

会員の川上克己さんを題材にした「かっちゃん  
の紙芝居」シリーズ、  
「かっちゃんの昔遊び」  
の絵を担当された  
とみたしょうこさんの  
展覧会のお知らせです。

とみたしょうこ 絵本原画展



新作の絵の展示販売あります

2024年9月19日(木)～23日(月) 祝日  
10:00～18:00 (最終日17:00) 毎日に廊予定

水平線ギャラリー  
神奈川県鎌倉市御成5-6-1  
www.suiheisen.net



アクセス JR線 鎌倉駅西口 徒歩3分

### 子ども里山体験 7/26(金)

今年は熱中症アラートが出る日も多く夕方からの開催としました。案山子作り、竹で器作り、釜戸でご飯炊き、谷戸鍋作りをしました。会員のかっちゃんの昔遊びの紙芝居を楽しみ、かっちゃんからお話を聞いてワクワクしました。日が沈んでから咲く花を見ながら夜の散歩を楽しみました。





## 自然だより

今年は梅雨が短く、7月上旬から8月末まで連日猛暑が続いています。県内各地で突発的な豪雨に見舞われましたが、鎌倉だけは雨が降らず、水路も田んぼも湿地復元した場所も水不足に悩まされました。晴天が恨めしい毎日でした。高温と水不足のせいか秋の野草があまり咲きません。梅雨時に草刈りした場所も草の再生が悪いです。ヤマユリの球根を大量に盗んだ人がおり、田んぼの山側の散策路に掘った跡が何か所もありました。毎月野草調査を続けているので、悪事はすぐに露見します。気温が高いわりには、セミやコオロギの初鳴きは例年通りの時期でした。高温のせいなのか、セミやチョウが少ないようです。あまりの暑さに日中は昆虫の活動が鈍ってい



ヤマユリ



カネコトタテグモ

るようでした。今年は力が少ないという声を聞きますが、カのような微小な昆虫が減ったことが昆虫や野鳥にまで影響を及ぼしていると推定しています。ツバメ、コウモリ、アマガエル、トンボ、クモ、キリギリス、カマキリなどカを食べている生きものが減っているようです。それでもカネコトタテグモという珍しいクモが撮影されるなど、谷戸には都市部にないよい環境が残されていることがわかります。

### ●田んぼの生きもの今昔3

8月末になると、今までは防鳥ネットを張りましたが、最近はネットなしでも被害がないようです。スズメが来なくなったからです。かつては大群が田んぼを取り囲み、9月はスズメの鳴き声でうるさいくらいでした。スズメの減少は全国的に話題になっています。20年くらい前までは、稲刈りをするとカヤネズミの巣が見つかったものですが今はありません。周辺の湿地では今も見つかりますが、田んぼで巣が見られなくなったのは不思議です。田んぼには、稲の間に網を張ってトンボを食べるナガコガネグモという大きなクモがいますが、近年は数が減っています。昨年は田んぼに多いチョウセンカマキリが少ないのに気づきました。稲刈りや、稲を束ねる作業の時にみつかるので探してみてください。秋は赤トンボ（アキアカネ）が田んぼで産卵し、モズが田んぼの周辺で鳴き始める季節です。



田んぼ風景 (2004年)

今年の秋も健在でしょうか？ 生きものの増減は年により差があるので、5年くらい観察しないと本当のことはわかりません。これからも谷戸の生きものを見つめていきたいと思います。



## 各班のお知らせ

### 田んぼ班



WBGT計「危険」の猛暑のなか、新たな道具も使いつつ田の草取り。小学生・高校生も参加してくれて順調に進みました。木陰で一休みの梅ジュースは美味い！無事に出穂を迎え、稲刈りへの準備がスタートします。



7/10 さつまいもの草取り

### 自然遊び班



小麦の脱穀：こすりつけるやつがたのしかった。(2年) 田の草取り：やっているときにざりがにの赤ちゃんがいた。(3年) 今日の田んぼは、あたたかかった。でも、お米は元気にそだつことを知り、おどろいた。(5年)

### 雑木林管理班



草刈りシーズンは梅雨に始まり、その後猛暑になりました。谷戸の草木は元気に生長しています。谷戸の草木は湿気や暑さを味方しているので、それらに負けないよう、草刈りに奮闘しています。



8/28 カナムグラ除去作業

### 農芸班



脱穀した麦の稈(茎)を使って「しおり作り」をします。複雑な編み方に見えますが、編み込むうちにリズムに乗って指が勝手に動くようになります。色系も編み込んで、オリジナル作品を仕上げます。

### 畑班



昨年同様に早々と梅雨が明けてほぼ1か月間の日照り、酷暑だったが、たのくろ豆、さといも、落花生、さつまいも、長ねぎ、みなよく耐えて順調に生育している。あとは台風が来ないことを祈る。

### 生態系保全班



オタマジャクシ保護ネットを片づけました。稲を倒さず片づけるのは一苦勞です。それでも小さなカエルを見つけると元気が出ます。昆虫が過ごしやすいインセクトホテルを試みようと思っています。



8/18 土手の草刈り

### 植物育成班



秋の野草がきれいに咲くために、土手や水路の草刈りをします。しかし雨が降るとムクムクと雑草が伸びてきます。カナムグラも花粉が飛ぶ前に除去する必要があります。暑さと雑草との戦いです。



## 谷戸の生きもの

### マミジロハエトリ 愛し合える予感！

オスとメスが恋の駆け引きをした。追いかけてっこをしては微妙な距離で向かい合ってしばし対峙。これを何回も繰り返している。見合い結婚の（恋愛経験のない）私はドキドキ、ハラハラ・・・飽きずにながめていた（昔は良家の子女は自由恋愛禁止だった・・・ウソです）。結果は・・・うまくいかなかったみたい😞名前の“マミジロ”はオスの頭胸部前縁の白帯を白い眉毛に見立てた呼び名。“ハエトリ”は“ハエトリグモ”のことだが、実際はハエより他のバッタ、クモなどを捕獲していることが多い。（たのくろまめお）



恋のかけひき(下がオス)



メス(バッタ捕食)



オス

### ハスオビヒシウンカ 何に見えるかな？

写真を見てセミに似ていると思った人は結構いい線いっている。何にも見えない、あるいはハエに似ていると思った人はすぐに本屋さんで昆虫図鑑を買いに行こう。学研 Live 昆虫図鑑がお勧めだ。そして、ウンカの仲間ではないかと思った人はすでに私のお友達だ。カメムシの仲間だが、正確にはカメムシ目ヨコバイ亜目ヒシウンカ科に属する。セミは同目同亜目セミ科なので似ていて不思議はない。ただ数mmと小さく、うんともすんとも鳴かないのがセミと違うところ。（たのくろまめお）



東谷



農家風休憩舎近く

## 谷戸往来

### 高校生ボランティア活動受け入れ 7/21(日)、28(日)

6名の高校生が今年も田の草取りをしました。若い力は嬉しいです。  
(感想文p5掲載)



### 教員補助作業 8/29(木)

深沢小、富士塚小の教員 38 名、深沢小 5 年生 1 名が集まり作業をしました。体験学習で行う田んぼ作業のほかに土手や水路の草刈り、畑の耕しなど谷戸のために大活躍でした。暑い中、先生方のさわやかな笑顔が印象的でした。





## 体験学習

深沢小5年 田の草取り 7/2

★イネのまわりをゴジラの手で丸くほって空気を土の中に入れて、イネがもっともおおきくなっていつかはぼく達が食べるとしたら、なにかせつない気持ちになりますね。

★「草取り」はめく時ブチッとちぎれないのでできるときもちよかったです。

★いねはまっすぐでせが高いけど、草はすこしせがひくいので、まちがえずにぬけました。

★刈った（取った）雑草をまるめてバケツにいれるのも楽しかった。

★谷戸の紙しばいはホタルの気持ちがよく分かるような話でした。



北鎌倉女子学園 田の草取り  
7/21(日)3年生、28(日)2年生

★(2年生)実際に体験をしてみて、これほどまでに重労働なのだとおどろきました。農業などは若い人が減っているなかで、さらに大変だと思いました。作業のときに様々な知識を教えてください、とてもよい経験になりました。



★田植えのなえがまっすぐならんでいたことがうれしかったです。田の草取りでイネをまちがえてとってしまうんじゃないかと思っていたけど、意外と雑草とイネが見分けやすくてまちがえずにとれたと思います！

★田の草取りをやってみましたが、ずっとかがんでいるのでこしがいたかったりして大変でした。

★わすれずにいねのまわりをハートを書くように空気を入れました！！空気を入れるといねが元気に育つそうです！！元気に育ってくれますように！！

★やとあるきで前きたときとまったく田んぼのけしきがちがくてびっくりしました。

★今は機械を使っているし、昔は大変だったのは知っていたけど、やってみるとすごくつかれるし大変だと改めて思いました。

★(3年生)暑い太陽の下で重い泥の中での作業はとても大変でした。1列やることに休憩をとれるのですが、広い田んぼの作業は多く、それを予定通りにおわらせるにはスピードが大切なのだと思います。農業も機械化が進む中、手作業での田んぼ作業は本当に大変だと思います。貴重なことを体験できてよかったです。

★(2年生)毎日おいしく食べている米がどのように作られているのか、興味はあったものの、関わる機会がありませんでした。今回のボランティア活動で田んぼを守る貴重な作業を体験できることに面白みを感じたため選びました。

★最初はいねをふんでしまうのがこわかったけど、しんちょうにやればふまないで草取りができたし洗うのも楽しかったです。

★久しぶりに谷戸にいったら、すごくイネが育っていてビックリしました。中に入ったらイネとイネの間が思ったよりせまくてイネをふまないようにするのがむずかしかったです。



★田の草取りではうまくござそうをとれました。ゴジラの手でハートがたにやるとたくさんござそうがとれました。

★根っこをめくときがたいへんでした。なぜなら深いところにあるし広がっていてさがすのがたいへんだったからです。

9月

- 1日(日) 田 すがい作り  
雑 刈り払い機で草刈り ♣
- 2日(月) 畑 大根の種蒔き ♣
- 7日(土) 田 はさ準備(本田横)  
はさ作り(小段谷戸)  
畔の草刈り ☆  
生 虫の音を聞く ♣
- 8日(日) 田 はさ作り(本田横)
- 11日(水) 畑 草取り、草刈り ☆  
植 秋の野草観察 ♣ ☆
- 13日(金) 農 麦わら細工(しおり作り) ♣
- 15日(日) 田 はさ作り(もめんばたけ奥) ♣
- 22日(日) 田 稲刈り準備、畔・はさ周り草刈り
- 25日(水) 畑 大根の間引き、長ねぎの土寄せ
- 29日(日) 田 稲刈り ☆  
自 里山探検隊3~6年「稲刈り」
- 30日(月) 畑 かぶ・冬菜の種蒔き ♣

10月

- 2日(水) 植 湿地の花畑観察 ♣
- 5日(土) 田 稲刈り  
生 虫の音を聞く ♣
- 6日(日) 田 稲刈り ♣
- 9日(水) 畑 大根の間引き、草取り ♣  
生 秋のカヤネズミ調査
- 12日(土) 田 稲刈り
- 13日(日) 田 田んぼ周り道具の片付け、溝切り  
雑 雑木林の下草刈り ♣ ☆  
自 里山探検隊「秋の谷戸しごと」
- 16日(水) 植 カナムグラの除去作業
- 18日(金) 農 小麦選別・製粉(製粉機) ♣
- 19日(土) 田 脱穀
- 20日(日) 田 脱穀 ☆  
雑 雑木林の下草刈り  
かまくらレンジャーズ
- 21日(月) 畑 さつまいも掘り ☆
- 26日(土) 田 脱穀(予備)、粃干し、畔直し
- 27日(日) 田 粃干し、粃すり、畔直し ♣  
雑 雑木林の下草刈り ☆  
青空自主保育なかよし会保全作業
- 28日(月) 畑 たのくろ豆の収穫・吊るし干し ☆

11月

- 3日(日) 田 粃すり、精米、わら切り ☆  
雑 竹の伐採 ♣
- 4日(月・祝) 子育て懇談会主催「さといもとどろんこ」
- 6日(水) 畑 絹さやの種蒔き ♣  
生 晩秋のチョウと鳥観察
- 9日(土) 田 粃すり、精米
- 10日(日) 田 粃すり、精米、わら切り、米の袋詰め  
雑 竹の伐採  
自 こども里山一日体験「さといも掘り」  
(会員以外の方 参加費500円/組)
- 11日(月) 畑 さといも掘り・洞入れ ♣
- 13日(水) 畑 落花生の収穫  
植 晩秋の植物観察 ♣
- 15日(金) 農 たのくろ豆の殻出し・選別 ♣
- 17日(日) 田 粃すり、精米、わら切り、米の袋詰め ♣  
雑 雑木林を歩いて調査 ♣
- 18日(月) 畑 さつまいもの洞入れ ☆
- 23日(土) 田 谷戸まつり前日準備、米の袋詰め
- 24日(日) 秋の谷戸まつり  
畑 にんじんの収穫

☆ 谷戸塾                      ♣ 里山一日体験  
田 田んぼ班                      畑 畑班  
雑 雑木林管理班                  農 農芸班  
自 自然遊び班                      生 生態系保全班  
植 植物育成班

<集合時間・集合場所>  
■各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎  
(農芸班、自然遊び班は、10時~)  
■虫の音を聞く  
時間:19:00 場所:山崎口いしい前集合 20:30頃まで



次号(会報124号):2024年11月発行予定  
会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

<お問い合わせ>  
〒247-0066  
鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内  
TEL/FAX:  
0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)  
ホームページ:  
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>  
メールアドレス:  
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

